

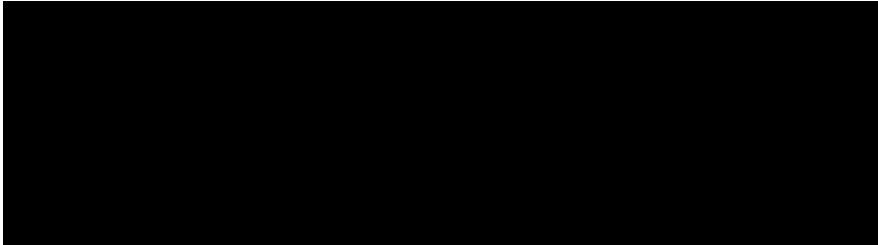
令和2年度事業報告

令和2年5月20日から令和3年3月31日まで

令和3年3月31日

一般財団法人未来基金ながさき

1. 財団の現況

- (1) 事務所の所在地 長崎県長崎市出島町 2-11 出島交流会館 5 階
- (2) 設立許可年月日 令和2年5月20日
- (3) 基本財産 300万円
- (4) 役員等人員 令和3年3月31日現在
- | | | |
|-----|----|---|
| 理事 | 5名 |  |
| 監事 | 1名 | |
| 評議員 | 7名 | |
| 事務局 | 2名 | |
- (5) 収入
- | | |
|--------|------------------------------------|
| 一般寄附 | ながさき子ども応援基金 1,294,179円 (個人30名、4団体) |
| | 運営費 537,011円 (個人10名、3団体) |
| 休眠預金事業 | 16,829,140円 (助成金総額11,150,000円) |

2. 令和2年度実施事業の概要

一般財団法人設立初年度となる令和2年度は、独自事業として「ながさき子ども応援基金」の運営、休眠預金制度の活用により県外財団法人とコンソーシアム事業として助成事業の運営及び助成団体への伴走支援を実施した。

また、令和2年冬より新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、現体制で地域にどのような貢献ができるか、コミュニティ財団として何が出来るかを模索しながら活動した1年となった。先述した、休眠預金制度は「新型コロナウイルス対応支援助成」の資金分配団体としては、新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた方々へ支援を行う団体へ助成による支援を実施した。また、47都道府県新型コロナウイルス対策地元基金(47コロナ基金)の事業にも参画し、影響を受けた医療機関・NPOに対し支援を実施するための受皿として機能すべく、支援活動の準備と調整を実施した。

3. 事業

【公益目的事業】

(1) ながさき子ども応援基金

① 助成事業への寄附について

当財団設立記念事業として、令和2年6月1日より助成事業への寄附を募集し、同年12月に助成金総額である75万円に達した。

② 助成事業の実施について

令和3年1月22日より、本基金の公募をHP上で公開(同年3月2日締切)した。申請団体は1団体(ながさき食物アレルギーの会ペンギン)のみであったことから、本公募を「第1次」とし、同年3月末より「第2次公募開始」とする旨を決定した。第2次公募開始予定の案内は、県民ボランティア活動支援センター広報誌「ぷらほつと」の折込チラシとして、3月2日に県内NPOおよび行政等へ送付した。

③ 第1次公募助成先の決定について

団体名：ながさき食物アレルギーの会ペンギン

助成額：189,550円

申請内容：別紙参照

(2) 休眠預金制度活用(新型コロナウイルス対応支援助成)

① 新型コロナ禍における地域包摂型社会の構築

休眠預金等活用事業において、指定活用団体である一般財団法人日本民間公益活動連携機構(以下、JANPIAと称す)より、令和2年7月17日に公益財団法人佐賀未来創造基金とのコンソーシアム事業として、休眠預金の資金分配団体に採択された(助成総額：61,820,000円、長崎県内の団体への助成総額：23,652,280円)。令和2年3月31日現在、長崎県・佐賀県の実行団体、事業名および助成額は別表のとおり。

② 新型コロナ禍における緊急被災者支援事業

JANPIAより、令和2年11月13日に公益財団法人佐賀未来創造基金を主幹事とするコンソーシアム事業(一般財団法人未来基金ながさき・一般財団法人日本未来創造公益資本財団・特定非営利活動法人宮崎文化本舗・公益財団法人おおいた共創基金により構成)の資金分配団体に採択された(助成総額：191,188,000)。

令和2年3月31日現在、長崎県内からの申請団体は無いため、伴走支援に関する事業は実施していないため、引き続き申請団体の公募を行う。

(3) 47 コロナ基金

① 寄附状況について

当財団への寄附額は、別表のとおり 100,950 円の寄附が寄せられているが、令和 2 年度は本基金を活用した新型コロナウイルス助成事業は実施していない。

※幹事団体である公益財団法人さなぶりに助成事業の相談、助成交付依頼書提出および審査を経て、所定の額が振り込まれる。

【収益事業】

実績なし。

【その他】

(1) 災害関係

令和 2 年 9 月に長崎県へ接近した台風 9 号および台風 10 号による大規模災害発生を想定し、台風接近前日までに災害支援に関する寄附サイトの開設準備を行った。

長崎県内において大規模な災害（人命に関わる河川氾濫、高潮、土砂災害など）が発生しなかったこともあり、上記サイトの公開は見送った。

自然災害は、発生予測が難しいこともあり、発災時に速やかな対応ができるよう上記 WEB サイトは削除せず、いつでも公開ができるよう引き続き準備を進めている。

(2) メディア掲載情報

令和 2 年 6 月 2 日	長崎新聞（設立記者会見放送）
令和 2 年 6 月 4 日	長崎国際テレビ（設立記者会見放送）
令和 2 年 6 月 5 日	毎日新聞（設立記者会見）
令和 2 年 6 月 9 日	朝日新聞（設立記者会見 WEB 版）
令和 2 年 6 月 12 日	PR TIMES（47 コロナ基金連携）
令和 2 年 8 月 12 日	佐賀新聞（休眠預金新型コロナウイルス対策）
令和 3 年 1 月 24 日	西日本新聞（休眠預金災害復旧支援）

4. 法人運營業務

(1) 理事会の開催

第 1 回理事会 令和 2 年 5 月 22 日（金）

第 1 号議案	未来基金ながさきの今後の実施計画について	確認事項
第 2 号議案	新型コロナウイルスに関する基金について	決議事項
第 3 号議案	休眠預金申請について	決議事項
第 4 号議案	その他	確認事項

第2回理事会 令和2年12月22日(火) 16:00~18:00

第1号議案	休眠預金「新型コロナウイルス対応緊急助成」について	報告
第2号議案	新型コロナウイルスに関する47コロナ基金について	報告
第3号議案	ながさき子ども応援基金について	報告
第4号議案	その他	報告

第3回理事会 令和3年3月31日(水) 18:00~20:00

第1号議案	令和2年度の実施事業について	報告
第2号議案	法人への寄附に関する事項について	報告
第3号議案	令和3年度の実施事業及び予算について	報告
第4号議案	その他	報告

(2) 評議委員会の開催

第1回評議員会 令和2年6月1日(月) 14:00~15:00

第1号議案	役員承認について	決議事項
第2号議案	令和2年度事業計画について	確認事項
第3号議案	その他	確認事項

(3) 寄付者等の情報管理

寄付者を含むステークホルダーの情報管理データベースを管理した。収集した情報はファンドレイジングや寄付者数等の情報発信に利用した。

5. 令和2年度決算書について

別紙参照

2021 年度事業報告（案）

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

2022 年 6 月 21 日

一般財団法人未来基金ながさき

1. 財団の現況

(1) 事務所の所在地 長崎県長崎市出島町 2-11 出島交流会館 5 階（2021 年 9 月登記住所変更）

(2) 設立許可年月日 2020 年 5 月 20 日

(3) 基本財産 300 万円（ゆうちょ銀行普通預金）

(4) 役員等人員 2021 年 12 月 31 日現在

理事 5 名

監事 1 名

評議員 7 名

事務局 2 名

(5) 収入

一般寄附 ながさき子ども応援基金 20,000 円（個人 1 名）

運営費 0 円

災害対応寄附 68,000 円（個人 9 名）

休眠預金事業 15,448,935 円（内訳：緊急コロナ枠 14,392,935 円、災害枠 1,056,000 円）

47 コロナ基金 3,091,095 円

2. 2021 年度実施事業の概要

2021 年度は、独自事業として「ながさき子ども応援基金」の運営、休眠預金制度の活用により県外財団法人とコンソーシアム事業として助成事業の運営及び助成団体への伴走支援及び 2020 年冬より新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、47 都道府県新型コロナウイルス対策地元基金（47 コロナ基金）の事業にも参画し、影響を受けた医療機関・NPO 法人に対し支援を実施した。

3. 事業

【公益目的事業】

(1) ながさき子ども応援基金

① 助成事業趣旨

長崎県内に拠点があり、かつ長崎県内で子育て支援に関する活動を行う非営利組織（NPO 法人、社会福祉法人、ボランティア団体等）を助成対象とし、長崎の「より良い子育て環境づくり（新型コロナウイルス対策を含む）」を支援する。

② 助成事業の実施について

2021 年 1 月 22 日より助成金を交付する、ながさき食物アレルギーの会ペンギンについて、報告

書作成等に関する相談などの対応を行った。また、1 団体のみの申請であったため、第 2 次募集を 2021 年 3 月より実施し、7 月より随時募集としている（応募団体無し）。

(2) 休眠預金制度活用（新型コロナウイルス対応支援助成）

① 休眠預金制度の概要

2019 年より、「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」（休眠預金等活用法）に基づき、2009 年 1 月 1 日以降の取引から 10 年以上取引のない預金等（休眠預金等）を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度が始まった。当財団は、資金分配団体として 2020 年度より 2 つの助成事業を実施し、長崎県内の 3 団体に助成及び伴走支援を実施している。

② 新型コロナ禍における地域包摂型社会の構築

休眠預金等活用事業において、指定活用団体である一般財団法人日本民間公益活動連携機構（以下、JANPIA と称す）より、2020 年 7 月 17 日に公益財団法人佐賀未来創造基金とのコンソーシアム事業として、休眠預金の資金分配団体に採択された（助成総額：61,820,000 円、長崎県内の団体への助成総額：23,652,280 円）。長崎県・佐賀県の実行団体、事業名および助成額は別表のとおり。2022 年 3 月 15 日（火）13：00～16：00 休眠預金事業（佐賀・長崎）2021 年度成果報告会を長崎県庁 1 階大会議室 B 及びオンラインで開催し、長崎県 3 団体・佐賀県 5 団体の実行団体より休眠預金事業の取り組み内容及び成果について発表。オブザーバーとして JANPIA、休眠預金事業審査員（長崎県、国際交流協会）、長崎県、五島市、松浦市、佐世保市、雲仙市、NIB 長崎国際テレビ、日本政策金融公庫、当財団理事・評議員など計 24 名が参加。

③ 新型コロナ禍における緊急被災者支援事業

JANPIA より、2020 年 11 月 13 日に公益財団法人佐賀未来創造基金を主幹事とするコンソーシアム事業（一般財団法人未来基金ながさき・一般財団法人日本未来創造公益資本財団・特定非営利活動法人宮崎文化本舗・公益財団法人おおいだ共創基金により構成）の資金分配団体に採択された（助成総額：191,188,000 円）。長崎県内からの申請団体は無いため、審査及び伴走支援は実施していない。県外の実行団体、事業名および助成額は別表のとおり。

(3) 47 コロナ基金

① 助成金の概要

新型コロナウイルス対策を行う医療機関及びコロナ禍においても活動する NPO 法人に対する資金支援として、公益財団法人さなぶり・一般社団法人全国コミュニティ財団協会が中心となり実施する「47 都道府県新型コロナ対策地元基金」に、長崎県担当として参画した。

本事業は、新型コロナウイルスに感染した罹患者への治療を行う医療機関（病棟・影響を強く受ける特定領域の病院等）への資金提供を通じて、医療従事者等（医師、看護師、技師等に限定せず経常的に従事する事務職員、技術系職員等職員全体を対象）への支援を実施する。助成対象については、治

療や院内感染予防に用いる資機材、医師や看護師の負担軽減にかかる宿泊費・保育費等となる。NPO 法人に対する支援としては、感染予防に関わる資機材の購入費等に充てられる。

本事業の原資は、基金設置管理団体である公益財団法人さなぶりより、長崎県内の医療機関への新型コロナウイルス感染症対策費として総額 3,000,000 円（助成額 2,700,000 円）、長崎県内の NPO 法人への新型コロナウイルス感染症対策費として 100,950 円の寄附により実施するものである。

② 助成先について

助成金交付先は、長崎県医師会の協力のもと、社会福祉法人春回会井上病院（長崎市）、社会福祉法人十善会十善会病院（長崎市）、社会医療法人財団白十字会佐世保中央病院（佐世保市）に対し、別途資料のと通りの助成金額を交付した。

NPO 法人については、長崎県県民生活環境課と協議し、コロナ禍で不登校になった子ども達が学校内の別の部屋に居る際の相談支援派遣を長崎県で初めて教育委員会と連携し独自で行っているため感染症対策が必須だと考え「NPO 法人子どもの権利オンブズパーソンながさき」を推薦頂き決定した。

【収益事業】

実績なし。

【その他】

(1) 災害対応関係

2021 年 8 月 11 日より長崎県へ接近した停滞前線による大規模災害発生を想定し、8 月 12 日より災害支援寄附サイトの開設準備を行った。8 月 13 日早朝に、長崎県雲仙市内において土砂災害が発生及び県内各地で河川氾濫の可能性が高まったため、寄附決済システム運営会社「コングラント株式会社」のシステムを活用し、8 月 14 日深夜に寄附サイトを公開した。

9 月 2 日までに 68,000 円の寄附を頂いたが、支援候補先（主に雲仙市、雲仙市社会福祉協議会）との協議により支援の要請は無かったため、長崎県ボランティア連絡協議会や防災士会長崎支部と協議し災害支援活動を地道に行っている NPO 法人有明支援会を推薦いただき寄付金贈呈が決定した。

(2) メディア掲載情報

① 休眠預金助成先団体について

特定非営利活動法人ナガサキリハビリテーションネットワーク

2021 年 6 月 19 日、20 日、7 月 19 日 長崎新聞、毎日新聞長崎支局、KTN・NIB・NBC

特定非営利活動法人 Treasures of the Planet

2021 年 8 月 17 日、9 月 16 日、9 月 28 日 長崎新聞、西日本新聞

インドネシアの大手新聞紙 Tribunnews に掲載 (<https://universalaid.jp/media-coverage/>)

特定非営利活動法人フリースクールクレイン・ハーバー
2021年6月19日 長崎新聞

4. 法人運營業務

(1) 理事会の開催

第1回理事会 令和3年6月26日(土) 15:30~17:00

第1号議案	令和2年度事業報告について	決議事項
第2号議案	令和2年度決算報告について	決議事項
第3号議案	令和3年度事業計画について	決議事項
第4号議案	令和3年度予算について	決議事項

臨時理事会 令和3年9月2日(木) 10:00~10:30

第1号議案	事務所住所変更について	決議事項
第2号議案	災害長崎基金コングラント立ち上げについて	報告

臨時理事会 令和3年11月29日(月) 18:30~19:30

第1号議案	休眠預金通常枠の申請について	決議事項
-------	----------------	------

第2回理事会 令和4年3月23日(水) 10:30~12:00

第1号議案	令和3年度事業報告について	決議事項
第2号議案	令和4年度事業計画(案)について	決議事項
第3号議案	令和4年度予算(案)について	決議事項
第4号議案	その他	確認事項

(2) 評議員会の開催

第1回評議員会 令和3年6月30日(水) 13:30~15:00

第1号議案	令和2年度事業報告について	決議事項
第2号議案	令和2年度決算報告について	決議事項
第3号議案	令和3年度事業計画について	決議事項
第4号議案	令和3年度予算について	決議事項

(3) 寄付者等の情報管理

寄付者を含むステークホルダーの情報管理データベースを管理した。収集した情報はファンドレイジングや寄付者数等の情報発信に利用した。

(4) 遺贈寄付について

今後寄附の可能性がある遺贈寄付について、情報収集及びネットワークづくりを推進するために、一般社団法人全国レガシーギフト協会の正会員として、2022年1月に加盟した。今後、遺贈寄附に関する

問い合わせの際は、全国レガシーギフト協会に相談のうえ、専門家からのアドバイスを元に対応する。

(参考) 一般社団法人全国レガシーギフト協会 HP <https://izoukifu.jp/>

(5) 遺贈寄付ウィーク 2021 in 長崎の開催

遺贈寄付ウィークとは、一般社団法人全国レガシーギフト協会が主催する、遺贈寄付について考え、学び、伝え、行動する週間であり、2021年9月に全国で同時多発的に開催されるイベントである。当財団は、長崎県における主催団体として、9月23日にオンライン形式で遺贈寄付の仕組みや実態について研修会を開催した。前半は、全国共通の講話及び解説、後半は九州各地のコミュニティ財団の取り組みや事例を紹介した。

日時：2021年9月23日13時～15時30分

講師：公益財団法人さわやか福祉財団 会長 ■■■ 氏

一般社団法人全国レガシーギフト協会 代表理事 ■■■ 氏

事例紹介：公益財団法人佐賀未来創造基金、一般財団法人筑後川コミュニティ財団

一般財団法人くまもとSDGs推進財団、一般財団法人未来基金ながさき

参加者：4団体9名、個人3名

(6) 冠基金について

長崎新聞社：局長と面談、社内検討中

NBC長崎放送局：局長と面談、社内検討中

5. 2021年度決算書について

別紙参照

令和2年度 貸借対照表

令和3年3月31日現在

一般財団法人未来基金ながさき

(単位：円)

科目	金額		科目	金額	
I 資産の部			II 負債の部		
1. 流動資産			1. 流動負債		
現金	8,605		未払金	4,965,690	
預金	547,233		預り金	22,975	
未収金	0				
流動資産合計		555,838	流動負債合計		4,988,665
2. 固定資産			2・固定負債		
預金	9,279,243		固定負債合計		0
什器備品	0		負債合計		4,988,665
固定資産合計		9,279,243	III 正味財産の部		
資産合計		9,835,081	前期繰越正味財産額	0	
			当期正味財産増減額	0	
			正味財産合計		4,846,416
			負債及び正味財産		
			合計		9,835,081

正味財産増減計算書

令和2年5月20日から令和3年3月31日まで

一般財団法人未来基金ながさき

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1. 経常増減の部		管理費	
(1) 経常収益		旅費交通費	33,004
基本財産運用益		通信運搬費	34,621
基本財産受取利息	16	消耗品費	137,281
基本財産運用益合計	16	諸会費	30,000
特定資産運用益		法定福利費	1,800
特定資産受取利息	0	租税公課	2,300
特定資産運用益合計	0	支払手数料	1,210
受取補助金等		会議費	5,405
民間助成金振替額	16,829,140	管理費合計	245,621
受取補助金等合計	16,829,140		
寄付金振替額		経常費用合計	17,201,930
分野指定寄付金額	1,294,170		
財団応援寄付金額	537,011	当期経常増減額	
寄付金振替額合計	1,831,181	一般正味財産期首残高	
雑収入		一般正味財産期末残高	1,665,416
受取利息	9		
その他収入（理事長から寄付）	207,000	2. 指定正味財産の部	
雑収入合計	207,009	受取補助金等	
雑損失		民間助成金振替額	0
現金（過）不足	0	受取補助金等合計	0
その他損失	0	受取寄付金	
雑損失合計	0	分野指定寄付金額	0
経常収益合計	18,867,346	財団応援寄付額	0
(2) 経常費用		受取寄付金合計	0
事業費		一般正味財産への振替額	
支払助成金	15,665,690	受取補助金等一般正味財産への振替額	0
給与手当	1,200,000	受取寄付金一般正味財産への振替額	0
日当	5,000	一般正味財産への振替額合計	0
旅費交通費	8,289		
通信運搬費	8,080	当期指定正味財産増減額	
租税公課	1,050	指定正味財産期首残高	0
支払手数料	15,400	指定正味財産期末残高	0
諸会費	52,800		
事業費合計	16,956,309	3. 正味財産期末残高	1,665,416

財産目録

令和3年3月31日現在

一般財団法人未来基金ながさき

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額	
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	財団事務所金庫にて保管	運転資金として	8,605	8,605
普通預金	十八親和銀行 長崎市役所中央支店 3023785		315,947	547,233
	九州労働金庫 長崎県庁支店 5672979	運転資金として	229,946	
	ゆうちょ銀行 普通 17680-30603071		1,340	
流動資産合計				555,838
2. 固定資産				
(1)基本財産				
普通預金	ゆうちょ銀行 普通 17690-26277461	公益目的保有財産として	3,181,016	3,181,016
基本財産合計				3,181,016
(2)特定資産				
寄付受入預金	十八親和銀行 長崎市役所中央支店 3026202	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金	1,168,972	1,168,972
	(ながさきこども応援基金)			
休眠預金受入預金	長崎銀行 浦上支店 7503562		4,929,255	4,929,255
特定資産合計				6,098,227
固定資産合計				9,279,243
資 産 合 計				9,835,081
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	執行予定 助成金及び給与手当	助成金:4,515,690円 給与手当(R3.1~R3.3)450,000円	4,965,690	4,965,690
預り金	源泉所得税	年度末預り金残高	22,975	22,975
流動負債合計				4,988,665
2. 固定負債				
固定負債合計				0
負 債 合 計				4,988,665
差 引 正 味 財 産				4,846,416
			基本財産	3,181,000
			基本財産差引額	1,665,416

令和2年度 監査報告書

一般財団法人未来基金ながさき、令和2年度会計（令和2年5月20日より令和3年3月31日）の収支決算について監査を行った結果、次のとおり報告いたします。

- 1 監査年月日 令和3年 6月 25日
- 1 監査場所 未来基金ながさき 事務局
- 1 令和2年度会計決算書および会計帳簿
- 1 預金通帳、証憑書類

上記の資料について監査を行った結果、帳簿および証憑書類などは整備され、収支とも適切に処理されている事を認めます。

令和3年 6月 25日

監 事

島田 隆 寿

令和3年度 貸借対照表

令和4年3月31日現在

一般財団法人未来基金ながさき

(単位：円)

科目	金額		科目	金額	
I 資産の部			II 負債の部		
1. 流動資産			1. 流動負債		
現金	15,922		未払金	471,541	
預金	1,235,627		預り金	0	
未収金	0				
流動資産合計		1,251,549	流動負債合計		471,541
2. 固定資産			2・固定負債		
預金	5,212,235		固定負債合計		0
什器備品	0		負債合計		471,541
固定資産合計		5,212,235	III 正味財産の部		
資産合計		6,463,784	前期繰越正味財産額	4,846,416	
			当期正味財産増減額	1,145,827	
			正味財産合計		5,992,243
			負債及び正味財産		
			合計		6,463,784

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

一般財団法人未来基金ながさき

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1. 経常増減の部		管理費	
(1) 経常収益		旅費交通費	128,116
基本財産運用益		通信運搬費	24,684
基本財産受取利息	26	消耗品費	3,900
基本財産運用益合計	26	諸会費	107,300
特定資産運用益		法定福利費	2,920
特定資産受取利息	0	租税公課	60,800
特定資産運用益合計	0	支払手数料	1,200
受取補助金等		会議費	15,050
民間助成金振替額	18,540,030	印刷製本費	1,360
受取補助金等合計	18,540,030	雑費	4,434
寄付金振替額		管理費合計	349,764
分野指定寄付金額	1,366,147	経常費用合計	17,200,358
財団応援寄付金額	95,240		
寄付金振替額合計	1,461,387	当期経常増減額	
雑収入		一般正味財産期首残高	1,665,416
受取利息	16	一般正味財産期末残高	2,811,201
その他収入(報奨金など)	10,100		
雑収入合計	10,116		
雑損失		2. 指定正味財産の部	
現金(過)不足	0	受取補助金等	
その他損失	0	民間助成金振替額	0
雑損失合計	0	受取補助金等合計	0
経常収益合計	20,011,559	受取寄付金	
(2) 経常費用		分野指定寄付金額	0
事業費		財団応援寄付額	0
支払助成金	15,391,830	受取寄付金合計	0
給与手当	900,000	一般正味財産への振替額	
日当	4,490	受取補助金等一般正味財産への振替額	0
旅費交通費	299,656	受取寄付金一般正味財産への振替額	0
通信運搬費	223,048	一般正味財産への振替額合計	0
支払手数料	31,570		
事業費合計	16,850,594	当期指定正味財産増減額	
		指定正味財産期首残高	0
		指定正味財産期末残高	0
		3. 正味財産期末残高	2,811,201

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

一般財団法人未来基金ながさき

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額	
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	財団事務所金庫にて保管	運転資金として		15,922
普通預金	十八親和銀行 長崎市役所中央支店 3023785		0	1,235,627
	九州労働金庫 長崎県庁支店 5672979	運転資金として	425,741	
	ゆうちょ銀行 普通 17680-30603071		809,886	
流動資産合計				1,251,549
2. 固定資産				
(1)基本財産				
普通預金	ゆうちょ銀行 普通 17690-26277461	公益目的保有財産として	3,181,042	3,181,042
基本財産合計				3,181,042
(2)特定資産				
寄付受入預金	十八親和銀行 長崎市役所中央支店 3026202		1,170,897	1,559,552
	三菱UFJ銀行 長崎支店 0554609	交付者の定めた用途に充てるため	388,555	
	福岡銀行 長崎支店 986626	に	100	
		保有している資金		
休眠預金受入預金	長崎銀行 浦上支店 7503562		471,641	471,641
特定資産合計				2,031,193
固定資産合計				5,212,235
資 産 合 計				6,463,784
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	休眠預金事業	助成金返金分	471,541	471,541
預り金				0
流動負債合計				471,541
2. 固定負債				
固定負債合計				0
負 債 合 計				471,541
差 引 正 味 財 産				5,992,243
基本財産				3,181,042
基本財産差引額				2,811,201

令和3年度 監査報告書

一般財団法人未来基金ながさき、令和3年度会計（令和3年4月1日より令和4年3月31日）の収支決算について監査を行った結果、次のとおり報告いたします。

- 1 監査年月日 令和 4年 6月 18日
- 1 監査場所 未来基金ながさき 事務局
- 1 令和3年度会計決算書および会計帳簿
- 1 預金通帳、証憑書類

上記の資料について監査を行った結果、帳簿および証憑書類などは整備され、収支とも適切に処理されている事を認めます。

令和 4年 6月 18日

監 事

島田 哲 彦

